

日本の杉連続セミナー「杉を科学する」

■主な講演者の紹介

□川井秀一先生

京都大学大学院総合生存学館（思修館）学館長 京都大学名誉教授

日本木材学会会長、日本材料学会副会長等を歴任

専門は森林学、木質科学、木質材料学。2006年に認定NPO法人の木を設立し、理事長として木材利用と森づくりを通じた環境教育の普及・啓発事業ならびに研究・調査活動を行っている。最近の研究テーマとして「居住空間におけるスギ材の心理的及び生理的効果に関する研究」、「スギ材の新たな機能開発－空気浄化機能発現メカニズムの解明とその居住空間への応用－」など。専門分野の木質材料学に関する編著書多数。

□谷田貝光克先生

香りの図書館館長 農学生命科学研究支援機構理事長 東京大学名誉教授 秋田県立大学名誉教授 樹木生理機能性物質研究組合技術開発委員会委員長 住環境技術研究組合技術開発委員会委員長

専門分野は天然有機物化学。植物、特に樹木に含まれる生物活性物質の特性の解明と人にとっての利用技術の開発。さらに生態系での樹木の生物活性物質の役割の解明。木炭・木酢液の利用技術の開発など。論文に「森林資源を活用したタキソールの生産方法に関する研究」「樹木の香りとその保健休養機能」著書に「森林の力」「木材居住環境ハンドブック(共著)」「木のふしぎな力」「植物の香り」と生物活性」、「文化を育んできた木の香り」など多数。

□光永徹先生

岐阜大学応用生物科学部教授

古来より人々は、動物、植物、海産物あるいは鉱物といった天然物を衣食住の中心に考え、神に感謝してそれらを巧みに利用してきました。薬用植物もその一つで、文明の発達とともに世界各地で民間伝承的に今日まで継承されている天然産物であります。私の研究は、『天然物化学』と『健康科学』をキーワードに、樹木を含む植物抽出成分の分子構造や生理機能を最先端の技術も駆使し、生体分子の機能や反応を分子レベルで解き明かし、植物生体内での生理的役割や人の健康に及ぼす効果、効能について科学しています。さらにそれらの機能を生かして、医薬品、化粧品、食品分野での商品開発の基礎および応用研究を目指しています。

□志村史夫先生

静岡理工科大学教授、ノースカロライナ州立大学併任教授

工学博士(名古屋大学応用物理)、応用物理学会フェロー、日本文藝家協会会員

スギには食品を長持ちさせる力があることを発見。香りがよく、揮発性の精油成分が出ていることが理由と考えられる。

しかし詳しいメカニズムはまだわかっておらず、現在研究中。

物理学関係の専門書、教科書の他に「古代日本の超技術」「古代世界の超技術」「生物の超技術」「真さんに学ぶ日本人の生き方」「漱石と真彦」「人間と科学・技術」など一般向け著書も多数。

□藤田佐枝子先生

有限会社 ホームアイ代表取締役

インテリアコーディネーター／二級建築士 森林インストラクター

木育情報ネット代表

国産材を使って健康住宅をつくり木・森を育て、学び、元気な山を増やすために

『木育情報ネット』設立、木育情報ネットで活動中

京都大学・大阪府・ホームアイの産官学で杉木ロスリット材を発明・開発

□小林大介先生

横浜国立大学教育人間科学部准教授

北海道札幌市の生まれ。2003年、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、博士（農学）。東京大学大学院農学生命科学研究科農学特定研究員、秋田県立大学木材高度加工研究所流動研究員、横浜国立大学教育人間科学部講師を経て2010年より現職。専門は、木材と人間との関係の科学（Wood/Human Relations）、木によるものづくり等。近年では、木材に囲まれた空間内での作業効率や快適性等を明らかにすることで勉強しやすい空間としての木造校舎や木質内装校舎の推進を行っている。共著に「こうやって作る木の学校～木材利用の進め方のポイント、工夫事例～」(2010)、「木力検定①木を学ぶ100問」(2012)、「木力検定②もっと木を学ぶ100問」(2013)等。

□森上展安先生

㈱森上教育研究所代表 主に私学学校、とりわけ中等教育、そしてそれとの高等、初等教育の接続、入試を扱う。

保護者対象に「わが子が伸びる」学習法に関するセミナーを開催。

私立学校に入試に関連したニューズレターを発行。

また、セミナールームを貸出し、素晴らしい教育実践に触れています。

このセミナールームを「できすぎくん」で壁をおおい、床に杉板をしきつめ、清浄な室内空気を維持。学習能率をあげています。

□榊原正三先生

昭和23年1月3日 静岡県磐田郡光明村横川（現浜松市）で生まれる。昭和46年3月31日 静岡県天竜市森林組合退職 昭和46年4月1日 榊原商店（木材業）開業、以来「葉枯らし」「天然乾燥」にこだわり、平成11年から川上の山と川下のお施主を結ぶ「与作ツアー」を継続している。平成15年9月5日オーストリア：エルヴィン・トーマ氏に巡り逢い、実証実験を個人的に実施し、木を活かす為の手法を実感し、「旬期月齢伐採」を実践している。又、同時期から「トレーサビリティ」を実施する。平成16年5月13日 「NPO法人新月の木国際協会」立ち上げに参加。平成18年6月23日 天竜T.S.ドライシステム協同組合設立 平成20年4月8日 天竜T.S.匠の会設立 平成24年1月5日 「一般社団法人木暮人倶楽部」立ち上げに参加 平成25年1月17日 湖山医療福祉グループ 医療法人社団藤友五幸会 監事

□松原恵理先生

独立行政法人 森林総合研究所複合材料研究領域積層接着研究室研究員

木材を見たり、木材に触れたり、木材の香りを嗅いだりすると、ヒトの身体や心ではどんな反応が起こるでしょうか？ヒトを測る様々な手法を用いて、私たちが経験的に感じている木材や木質内装空間の快適さを明らかにする研究を行っています。現在は、香りが持つ機能性に着目して、有効成分の探索を試みています。

□芝静代先生

首都大学工学部建築工学科卒業、Prince Wales's Institute of Architecture

大学院（英国）修了 一級建築士

現在、静水舎一級建築士事務所所長として、エコロジーと伝統技術に基づいた人の健康にとって安全な建物の設計監理と庭の設計施工を行う。

2001年からエコロジーに基づいた社会人教育「緑の家学校」を続行中。

2003年から生活者の視点から見た町づくり、有機農業による村づくり、木材の産直による山村の復興、都市型市民農園によるコミュニティ形成などエコロジーの理念の下に活動するNPO法人「緑の家学校」理事長。